

たいむとらべるとうやこ



Time Travel Toyako



vol.1 「洞爺湖町誕生」

～洞爺湖町の歴史を振り返ります～



洞爺湖町開町式

洞爺湖文化センターで開かれ、町民や来賓など約300人が出席。式典のオープニングには「とうや湖踊る社中」のよさこい演舞で盛り上がりました。また、神奈川県箱根町との姉妹都市締結を継承しました。

洞 爺湖町は、平成18年3月27日に虻田町と洞爺村が合併し、人口1万1221人でスタートしました。

当時、地方分権の動きが強まり、地方交付税制度の変革などから、財政状況が厳しくなり、安定した行政サービスの運営が困難になることが予想され、小規模市町村単独では、財政状況の回復が難しいなどの理由から何度も協議を重ね、洞爺湖町が誕生しました。

4月6日、新町初町議会臨時議会が開催され、初代議長に藤沢二三夫さん、4月18日、洞爺湖町長選挙では、初代町長に長崎良夫さんが就任しました。

6月26日には洞爺湖町開町式が行われ、新町の明るい未来を期待する1年となりました。

洞爺湖町の将来像に「湖海(うみ)と火山と緑の大地が結びあい元気をつくる交流のまち」を掲げ、今年で誕生15年となります。

東奔西走

明 けましておめでとうございます。昨年12月にファイターズ応援大使に洞爺湖町が当選となりました。ファイターズの躍進と、応援大使に選ばれた3選手の活躍を期待しみんなで応援しましょう。(C.K)

丑 年は「我慢(耐える)」、「発展の前触れ(芽が出る)」を表す年になると言われているそうです。今年もコロナ禍に耐える年になるかもしれませんが、何か新たな発展があることを期待したいと思います。(M.O)

今月のワンショット

